

**文部科学省 大学間連携共同教育推進事業**  
**「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」**  
**第45回 ITを活用した教育センター会議 議事録**

【日 時】平成28年11月19日（土）10時～12時30分

【場 所】北海道自治労会館 4階会議室

【出席者】城教授、近藤教授、佐藤健一教授、小林准教授、須和部講師、内金崎事務員（岩手医科大学）、越野教授、豊下講師、吉田助教、茂庭課長、小林事務員（北海道医療大学）、宮崎教授、美島教授、佐藤教授、弘中教授、片岡教授、北川准教授、内海講師、乾事務員、津軽事務員（昭和大学）、鈴木様（株式会社ピコラボ）

————— 議 事 内 容 —————

報告事項

1. 第44回 ITを活用した教育センター会議 議事録 (資料1)
2. 5年生ポートフォリオの提出状況、復習用ライブラリー、症例課題の履修状況 (資料2)
3. 3大学学生間交流授業（平成29年1月12日（木））準備状況  
北海道医療大学、昭和大学ではすでに学生説明会を終了した。岩手医科大学では11月24日に実施する予定。  
発表学生は3名。個人情報、写真はHPには掲載せずに、当日のスライドで発表する。授業終了後にディスカッションの内容を含めて、最終版をHPに掲載する。
4. 第9回 ITを活用した教育センターワークショップ報告書の内容の確認

検討事項

1. 3大学共通試験について (担当：城先生)
  - ・ 今年度は岩手医科大学と昭和大学では、平成29年3月13日(月)13時(仮)から実施予定。
  - ・ 昨年度実施した共通試験問題について、正答率も参考に12月末までにブラッシュアップを行う。
  - ・ 問題数は昨年よりも増やす。
2. 来年度以降の本事業継続のための取組と予算について (資料3)
  - ・ 来年度以降、資料3のように本事業を継続することが決定した。
  - ・ ITを活用した教育センター事務局が平成29年3月で終了するため、3大学事務（学務）と授業準備、運営などについてマニュアルを作成し、引き継ぎを行う。
  - ・ 来年度は今年度と同様、昭和大学のサーバーを用いて3連携校の授業を実施する。臨床研修歯科医や歯科医師会会員は、クラウドサーバーにある公開用IT教材を活用する。
  - ・ クラウドサーバーの維持管理経費については、3大学で共同運用する。
  - ・ 現在教育センター事務局が維持管理しているITを活用した教育センターのHPについても今後3大学共同で維持管理する。
3. 報告書作成について
  - ・ 平成29年2月末までに各大学の5年生のポートフォリオ（電子ファイル）をまとめて、ITを活用した教育センターに送付する。

- ・ 各大学で「超高齢社会の歯科医療」に関して、3年間の IT を活用した教育（Step 1～3）で何が達成できたかを A4 1～2 枚程度でまとめる。
  - ・ 授業、実習風景などの写真を事務局に送る。
4. Step3(5年生)の教材（復習用ライブラリー、症例課題）
- ・ 履修率が低い原因として以下の2つの理由が考えられた。そこで Step3(5年生)の教材を必修と選択に分ける。選択部分は臨床研修医になってから学ぶ内容で、興味がある学生は履修できる。
    - 1) 教材のボリュームが多く、また履修に必要な時間が明記されていない。
    - 2) 教材や解説について5年生には難しい内容が含まれている。
  - ・ 各 WG の責任者は必修部分を明記し、12月20日(火)までに事務局に送る。
  - ・ 各 WG 責任者の確認を得ながら、平成29年3月上旬までに事務局が IT 教材の改修を行う。

次回開催日時 平成29年1月（日程調整中）

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業  
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」  
第44回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成28年10月26日(水)13時～14時20分

【場 所】以下の5拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館505号室、金沢電子出版株式会社、株式会社ピコラボ

【出席者】城教授、内金崎事務員、(岩手医科大学)、越野教授、豊下講師、茂庭課長(北海道医療大学)美島教授、佐藤教授、片岡教授、小暮係長(学務)(昭和大学)鈴木様(株式会社ピコラボ)佐藤様(金沢電子出版株式会社)

【欠席者】弘中教授、松原課長(財務)

————— 議 事 内 容 —————

報告事項

1. 第43回 ITを活用した教育センター会議議事録 (資料1)
2. 5年生ポートフォリオの提出状況、復習用ライブラリー症例課題の履修状況 (資料2)
3. 第23回歯科医学会について  
3大学の学生がそれぞれ発表し、質問を行う事で理解を深め交流を図った。
4. 第3回公開シンポジウムについて  
越野教授から講演は北海道大学の山崎 裕教授による「超高齢社会に必要な歯学生教育」と札幌歯科医師会の高橋一行理事による「超高齢社会における札幌歯科医師会の取組み」を依頼した件報告があった。

検討事項

1. 3大学学生間交流授業(H29年1月12日)  
昨年同様越野教授が責任者として、3大学の学生に交流授業のオリエンテーションを行うことになった。岩手医科大学は小林講師、昭和大学は佐藤教授が担当する。オリエンテーションの日程調整中である。
2. 3大学共通試験について  
城教授が責任者として、昨年度の試験結果を解析し、今年度の作問依頼を各WGの先生方に依頼する予定である。試験日程は3月3日、6日、7日で調整中である。
3. 来年度以降の本事業継続のための取組と予算について (資料3)  
ディスカッションを経て資料3の案を作成した。今後3連携校で検討をし、11月19日に決定する。
4. その他

次回開催日時 11月19日(土)

平成28年度 3大学提出物、回収状況一覧表

大学	担当	進捗 (4/5更新)	学年	STEP	アンケート集計	ポートフォリオ		11/14(月)時点	
						ユニット名	提出物	履修率	正答率
北海道 医療大学	越野先生 豊下先生	5年生については臨床教育 管理運営分野 長澤教授、 3年生については咬合再建 補綴学分野でマネージメント することで調整中。電子 ポートフォリオはmoodleを 活用して実施する。高齢者 に関する実習で使うポート フォリオのフォーマットはな るべく本取組で用いるもの と同一になるよう検討中。	3年	STEP 1	授業後アンケート (すべて回収済)	リハビリテーション科学概論	ポートフォリオ	38名/74名(51%)	
			5年	STEP 2	授業後アンケート (すべて回収済)	高齢者歯科学	ポートフォリオ	39名/49名(80%)	
			5年	STEP 3	症例課題トライアル アンケート結果	高齢者歯科学	ポートフォリオ	12月31日提出締め切り	
							復習用ライブラリ	30名/49名(61%)	
					症例課題	29名/49名(59%)			
岩手医科 大学	近藤先生	10月から11月中旬にかけ て実施されるD5介護体験 実習・地域医療実習で本 ポートフォリオを活用する。 ポートフォリオはファイルで 回収する。	3年	STEP 1	授業後アンケート (全て回収済)	社会と歯科医療・チーム 医療(大学間連携IT教育)	ポートフォリオ	実施なし	
			4年	STEP 2	授業後アンケート (3回目まで回収済)	社会と歯科医療・チーム 医療(大学間連携IT教育)	ポートフォリオ	実施なし	
			5年	STEP 3	症例課題トライアル アンケート結果	社会と歯科医療・チーム 医療(大学間連携IT教育)	ポートフォリオ	地域医療体験実習 目標書き出し:41名/41名 (100%) 実習記録:33名/41名(80%) 振り返り:34名/41名(83%) 成長報告書:35名/41名(85%)	
								介護体験実習 目標書き出し:40名/40名 (100%) 実習記録:37名/40名(93%) 振り返り:37名/40名(93%) 成長報告書:37名/40名(93%)	
							復習用ライブラリ	WG1	40名/41名(98%)
								WG2	41名/41名(100%)
								WG3	41名/41名(100%)
WG4	41名/41名(100%)								
症例課題	コピー依頼中								
昭和大学	内海先生 (病歯臨床の採点は 一部丸岡先生担当)	実習書に提出するひな形を 掲載し、フィードバック担当 教員を決定。3月25日に学 生オリエンテーション	3年	STEP 1	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	口腔医学とチーム医療Ⅰ	ポートフォリオ		
			4年	STEP 2	授業後アンケート (〇回目まで回収済)	口腔医学とチーム医療Ⅱ	ポートフォリオ		
			5年	STEP 3	症例課題・復習用ラ イブラリ・共通試験 トライアル実施 (2016/3/14)。 アンケート結果集計 済。	口腔医学とチーム医療Ⅲ	ポートフォリオ (規定フォーマット すべての提出 率。期限遅れ含 む)	地域連携Ⅲ 【提出物】 ・目標書き出し ・ふりかえり ・成長報告書	48名/66名(73%)
							病歯臨床 【提出物】 ・目標書き出し ・ふりかえり ・成長報告書 ・SEA	39名/66名(59%)	
							復習用ライブラリ 履修状況 (1問でも受験完 了した者)	WG1	36名/89名(40%)
								WG2	26名/89名(29%)
								WG3	26名/89名(29%)
WG4	25名/89名(28%)								
症例課題 履修状況 (1問でも受験完 了した者)	WG1	37名/89名(42%)							
	WG2	11名/89名(12%)							
	WG3	29名/89名(33%)							
	WG4	28名/89名(31%)							

## 来年度以降の本事業継続のための取組と予算について

### 1. 「IT を活用した教育センター」について

#### 1) 構成員について

- ① 3校の学部長と本事業で作成した IT 教材を活用して授業を行っている教員、歯科医師会会員および事務職員で構成する。
- ② 事務局を各大学の学務に置く。

#### 2) 「IT を活用した教育センター」会議について

##### (1) 「IT を活用した教育センター拡大会議（スカイプ）」

- ① 年に数回開催する。
- ② IT 教材の改善を図り、IT 教材を活用したより良い授業を実施し、臨床研修医向けの教材を作成することなどを目的に行う。

##### (2) 「IT を活用した教育センター会議（対面）」

- ① 各大学 3 名程度の教員と 1 名程度の事務職員で構成する。
- ② 「IT を活用した教育センター拡大会議（スカイプ）」の内容を集約し、3 連携校の本事業の方針を決定する。
- ③ 3 校持ち回りで年 1 回実施する。
- ④ 平成 29 年度は昭和大学、平成 30 年度は岩手医科大学、平成 31 年度は北海道医療大学が開催することとする。
- ⑤ 旅費、交通費については、各大学で自己負担とする。
- ⑥ 3 校で協議のうえ、当該年度の当番校が開催日時等の詳細を確定する（開催日は 5 月あるいは 6 月の木曜日とする）。
- ⑦ 開催校関連の歯科医師会会員も参加し、臨床研修医向け教材の作成などについて意見をもらう。

### 2. 報告書の作成について

#### 1) 報告書の作成方法について

- ① 委員会当番校が報告書の取り纏めを行う。
- ② 作成費については、当番校で負担する。
- ③ HP 上でも公開する。

### 3. moodle のバージョンアップについて

- 1) 昭和大学で来年度予算には組み込まれていないため、今年度と同様に運用する。
- 2) その後の運用については、「IT を活用した教育センター会議（対面）」で協議する。

### 4. IT 教材の改修について

- 1) 予算が発生するものに関しては「IT を活用した教育センター拡大会議（スカイプ）」を開催して審議の上、3 連携校予算で改修を実施する。

### 5. その他

- 1) 本事業の HP については、現在のものを 3 連携校予算で維持する。